

2019年度 第2回 運営会議ニュース

日 時	2019年5月12日(日) 13:30~16:00
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター(レクチャールーム)
出 席 者	14名

各ゾーンエリアの管理について(各団体等からの報告事項)

●グリーンタフ・谷戸山公園グループ(略:グリーンタフ)

定例観察会について。四月、五月見どころが豊富。一か月に一回の観察会ではなかなかタイミングが難しい。イチリンソウはニリンソウよりも遅く出て早く消える。アカシデの雄花は長く咲くが、その後の雌花の花期は短く、すぐ実になる。クマシデ、イヌシデも既に実をつけはじめている。キブシは既に大きな実をつけている。ニシキギも非常に小さな実をつけている。田んぼの淵には、タチイヌノフグリ。似たものでキュウリグサ。ノミノツツリとノミノフスマは、花卉の切れ目で見分ける。ヘビイチゴ、ヤブヘビイチゴの違いは葉っぱ。オヘビイチゴも見られる。これはキジムシロ属で五枚の葉っぱが掌状に広がり、先端に花が多く、果実が熟しても赤くならない。ホウチャクソウが花を着け始め、キツリフネは小さな芽がでている。わきみずの谷のタチヤナギが哀れな状況になっている。腐ってしまうのか心配。(会長)カミキリムシが入っているのと、湿地だからどうしても根が弱い。何とか保っている状況。(グリーンタフ)伝説の丘のネムノキがやっと芽吹き始めていた。イヌザンショウは立ち枯れた(公園にて伐採)。クマノミズキが伝説の丘にあるがキアシドクガに葉が食われていた。(会長)ドクガという名前だが、人間に害はなく、成虫は意外とかわいい。

●ふるさとフォーラム座間

協会からの紹介でショッパーという地域新聞が“座間の森”(ハナショウブ)を取材したいとのこと。来月中頃咲く予定で記事は今の時期に出す。今年は育ちがよい。まだ花芽はついていない。“座間の森”は植木屋さんの名前が由来。幕末に東京で栽培していた園芸種を作った人が座間さん。公園ができた時に分けてもらい、園内で育てている。

●座間のホタルを守る会(略:ホタルの会)

ホタルが出る湿生生態園の北水路が草丈も高くなっていたので、水路側の草刈りをした。ここでは昨年、5/19にホタルが発生した。今年はまだ出ていない。下旬ぐらいには飛ぶかも。芹沢公園では5/9に3頭見られた。今年は寒さが続いたので遅れ気味かもしれない。

●ぼらぼら(山野草調査結果報告) ※ぼらぼら欠席のため、報告書代読

5/2に4区画に分かれて調査した。去年と比較して、今すぐ何か対策しないとイケない状況ではないのでは。

●谷戸山自然ボランティア(略:やとボラ)

前回の会議で話した柿の木を植えたので成長を見守りたい。湿生生態園下池のアオミドロが急激に増えている。体験館前の枯れたオノエヤナギにフジの花が絡んで、今年は見栄えがした。アゲハチョウとタテハチョウがたくさん出てきた。アゲハチョウでは、キアゲハ、モンキ、カラスを確認。タテハチョウはツマグロヒョウモン、ヒメウラナミジャノメ。シジミチョウでウラギンシジミ等。水鳥の池にコガモが5~10羽いる。あとはヒヨドリ、シジュウカラ、ヤマガラ等。キビタキが今年は五羽以上入っていると思う。エナガのヒナが7~8羽いた。その他、南谷戸田に入るボランティア活動の日を野鳥観察小屋内の白板に書いておいてほしい。土日はバードウォッチングのために遠くから来る方もいる。

●専門委員

湿生生態園の下池でヒキガエルを確認。100に近いカエル合戦があった。こんなに集まるところは少ない。(会長)ログハウスの池も上陸直前だと思う。淵に多量に集まっている。藻は出ていないが水はグリーン。(公園)池に循環ポンプを入れてあるが、エアレーションのような感じ。

●写楽会

ウマノスズクサ昨年引きちぎられたのが生き返った。来年には元に戻るのではないか。ウメバチソウが今年は見つかったがまだ芽が出たぐらい。南入口にテングチョウが一羽飛んでいた。ちょっと早いと思ったが。

厚木土木事務所東部センターより報告

(県土木) 道路拡張のため公園が一部削られる部分の植生調査を 5/8 に実施した。(県土木) 今後、道路工事をするにあたり、移植が必要な植物について、皆様のご協力をお願いしたい。工事自体は数年先で、時間にまだ余裕はある。東部センターや学生たちが入って研究論文になるような調査になればいいと思うが。当該場所はボランティア団体以外入るのを認めていない場所である。

(県土木) 今年新しく買収した場所について。年三回の県民参加型イベントとして農作業体験を始めた。本日、さつま芋とかぼちゃ苗の植付けをし、70 名近く参加者があった。作付けしづらい場所はナノハナを植える予定。コスモスは二年前に植えたタネがこぼれ芽が出ている。(谷戸ボラ) カラスは来るか。(園長) ラメが入った黄色い糸を張れば警戒して来なくなる等、方法はあるが様子を見る。(県土木) 多目的広場から下りてくる砂利道は土をかけて転圧をした。

●公園管理事務所(略:公園)

- ・草刈りについて。湿生生態園とわきみずの谷は直営で行う。水鳥の池は委託でホタルの時期までに一回行う予定。池対岸の一部は今年残す予定。野鳥観察ウォール前湿地も委託で行う。
- ・里山保全隊を 5/18 に予定。森の学校の西側を作業したい。シラカシやヒサカキが多く、林床は暗い。三月の運営会議でも話題にした件で、三月では保全隊の活動を延期した。保全隊で外周道路と中の補修道路の間を二回ほどきれいにしたこともあるが、今回は外周道路の池側である。

次回開催日	6月9日(日) 13:30~16:00
-------	---------------------

※運営会議への提案や傍聴を希望される方は、公園管理事務所までお申し出下さい。